

電子工学科			工学課題実験				
学年	第4学年	担当教員名	戸谷 伸之				
単位数・期間		2単位	通年	週当りの開講回数	1回	必修	履修単位
授業の目標と概要		創造性を養うために、第3 学年までに得た知識を基に、自ら課題を発見し、解決方法を計画し、実行する能力を育成する。これらの作業をグループ作業と個人作業を混合させながら、行うことにより、チームワークで仕事をする。能力、チームの中で個人の力を発揮する能力を養う。					
		釧路高専目標	E:60%,F:20%,G:20%		JABEE目標	d-2-c,e,f,g,h	
履修上の注意 (準備する用具・前提となる知識等)		グループで作業する、グループの中で自分の役割を見つけ、協力して作業する、ということが重要である。また、グループ討論において意見を確実に伝えるコミュニケーション能力も必要である。					
到達目標		チームワークで仕事ができる。 グループ内でコミュニケーションが十分にできる。 グループで計画を立て、メンバーが計画的に仕事をすることができる。 自分たちの持つ知識・技術を活用したプランを設定できる。計画を効果的に他者に説明できる。					
成績評価方法		評価はグループ評価と個人評価により行う。詳細はガイダンスにおいて説明する。 合否判定と最終評価は同一である。 グループ評価(60%)・個人評価(20%)・レポート評価(20%)により判定する。60点以上で合格である。					
テキスト・参考書		担当教員の指示による。					
メッセージ		工学課題実験は、自分たちの持つ知識・技術を使って、チームで一つの作品を完成させる。周辺分野の技術・知識を得る良い機会である。特に、実験を通じて実践的な技術・知識として経験するとともに、グループ作業という、講義とは異なる形態での作業を経験することができる。積極的に参加して欲しい。					
授 業 内 容							
授業項目				授業項目ごとの達成目標			
ガイダンス、全体テーマ決定、グループ分け(リーダ決定)(4) グループごとのテーマ検討および製作物検討(8) グループテーマ発表・討論(2)				全体の中でコミュニケーションが十分できる。 グループ内でコミュニケーションが十分できる。 テーマに従って製作物の計画立案が出来る。 チームワークでプレゼンテーションできる。 討論に積極的に参加できる。			
前期中間試験							
製作準備(8) 製作(8)				これまでに得た知識を基に製作計画を協調的に計画立案できる。 グループ内での自分の役割を認識し、協調的に製作し、自分の能力を発揮できる			
前期期末試験							
製作(6) グループ発表(グループテーマ、製作内容など)(4) 改善計画(4)				グループ内での自分の役割を認識し、協調的に製作し、自分の能力を発揮できる 役割に従って発表に参加できる。 討論に積極的に参加できる。			
後期中間試験							
製作(10) グループ発表(グループテーマ、製作内容など)(4)				グループ内での自分の役割を認識し、協調的に製作し、自分の能力を発揮できる 役割に従って発表に参加できる。			
後期期末試験							